

令和元年度 通常総会開催

令和元年8月25日(日)

アートホテル大阪ベイタワー

事業報告・収支決算報告・収支差額金処分案承認



No. 341

発行所

公益 全国珠算教育連盟
社団法人 大阪府支部

<http://www.web-g.jp/osaka88/>

E-mail osaka88@web-g.jp

〒552-0001

大阪市港区波除2-8-14

TEL 06-6583-6222

発行者 櫻井行雄

編集者 久手堅大成

印刷 広報部



令和元年8月25日(日)午前10時から、アートホテル大阪ベイタワー3Fコンファレンスルーム301において、令和元年度通常総会が開催された。開会の前に、本年度にご逝去された会員及び御家族に哀悼の意を表し、黙祷を捧げた。櫻井支部長の時節の挨拶では、自身の夏季休暇での体験談を交えながら、令和元年度も、支部の事業・会計の健全な施行を約束された。顧問代表挨拶では山口勝義氏が「決算報告とは支部の財政状態を会員の先生方に報告することである。出席された会員の先生方から数多くの意見や質疑があればこそ、各執行部に刺激を与え、よりよい支部運営に繋がっていく。」と挨拶された。

その後、令和元年度会員表彰が斉藤厚生部長の司会により、永年在籍表彰5名・支部優績表彰5名の表彰が行われた。本部・支部・近畿ブロック・大阪連合・近畿連合の状況報告において、櫻井支部長が次のように語った。

◎珠算検定(段位・1級)3級)における応用計算の今後の動向。

◎訪米使節団が無事に帰国。(大阪からは5名の参加者)

◎8月8日に京都国際会館において全日本珠算選手権大会が行なわれた。(大阪からは20名の参加出場選手)

◎来年の優秀生徒表彰式典は、3月15日に中央公会堂にて開催。

◎12月25日から支部研修旅行。

◎全国珠算研究集会在来年3月29日に兵庫県で開催。

近畿連合では、PR活動において、「そろばん」の認知度を高め普及に繋げていくことを議論し、学習指導要領に珠算を継続していくために、文科省に働きかけていく等の話があった。

総会成立宣言は、現在在会員100名、出席者54名・委任状41名で成立宣言が行なわれ、斉藤京子副支部長を議長として、議長団(副議長・西岡佳一氏、澤西信晴氏書記・花岡友美氏、議事録署名人・脇坂周子氏、安田イワミ氏)が選出され議題審議に入った。

平成30年度事業報告・収支決算報告及び収支差額金処分案承認の件は、花谷監査より監査報告があり、会員の拍手をもって承認された。執行部報告においては、毎年、天満宮で開催されているはじき初め協賛の願いがあり、検定部からは検定受験者数が減少傾向にあり受験者数の増加に協力を求めた。競技部からは全日本珠算選手権大会の報告があり、都道府県対抗競技において大阪府代表が大健闘の末、第2位に輝いた。また大阪府支部から協力委員として参加した6名の会員の労をねぎらわれた。(久手堅)

令和元年度 全日本珠算選手権大会 開幕

令和元年8月8日(木) 京都国際会館
令和初の日本一の栄冠は誰の手に!?



令和元年8月8日(木)午前9時から京都国際会館において、全日本珠算選手権大会が開催された。全国各地から珠算を極めた精鋭681名が古都・京都に集い、新時代の「そろばん日本一」の座を目指し、日頃鍛えた珠算の技を競い合った。

平上一孝理事長は、昭和29年に第一回が開催され、幾多の名選手を輩出したこの伝統ある大会が、珠算道場発祥の地であり全国珠算教育連盟の発足の地である京都で開催される意義に触れられ、「日本の競技会で好成績を得るには、心・技・体の充実が重要である。不屈の精神力・創意工夫によってもたらされた技・どんな環境にも耐えうる体力が不可欠である。昨今の小・中学生の競技力の向上には、目を見張るものがあり、今年はどうなドラマが待ち受けているのか期待が高まります。」と述べられ、出場選手を激励した。今年も韓国からの招待選手5名が参加し紹介された後、連盟より昨年の「そろばん日本一」の竹澤祥加選手(千葉県)に読上暗算日本一10回達成の偉業を称え特別表彰が行われた。

中村友結選手(高知県・中学2年)が爽やかな選手宣誓を行った後、最初の種目フラッシュ暗算競技が行われた。間違えた時点で競技終了の「一算落とし」というルールがどんなドラマを引き起こすのか。1問目3桁15口4秒から入った問題は徐々に時間を短縮していき、1.95秒で11名の選手にまで絞られた。決勝席に移動し、日本一を賭けた勝負に入った。昨年の覇者、杵川日向雅選手(三重県)が実力をいかんなく発揮し1.65秒を正解し連覇を達成。自身が持つギネス記録を上回る1.64秒に挑戦し、見事正解。会場からは大きな拍手が起こり、大観衆が見守る中、ギネス記録に申請された。個人総合競技では、今年は25名の選手が1480点以上を獲得。8名の満点獲得者が同点決勝に進んだ。決勝では土屋宏明選手(宮城県)が接戦を制し10度目の「そろばん日本一」の栄冠を手にした。

土屋選手は壇上で何とも言えない達成感に包まれていると笑顔で感想を述べた。過去15回の出場で10度の日本一に輝いた中で誤答は、わずかに5題であるという驚異的な正答率のアナウンスにこの日一番のどよめきが会場内に起こった。

続いて読上暗算競技が行われ1問目(5×16桁加減算)に正答した久保新選手(北海道)が優勝。また読上算競技では、読み手の聞き取れない程のスピードで読み上げられる問題と、一流の選手達が集まって弾く珠の音だけが響く心地よい会場の中、紙野大樹選手

(広島県)が優勝の栄冠を勝ち取った。

小学生日本一には1465点を獲得した宜名真幸大選手(沖縄県)が輝いた。また小学生優秀選手10名には、1450点を獲得した江口尊琉選手(大阪府)も第2位で選ばれた。

都道府県対抗競技においては、大阪府は第2回戦からの登場。順当に勝ち上がった青森県との激闘を制すると勢いそのままに準決勝・決勝に進出。決勝で昨年王者の沖縄県に挑むのは、近畿勢の大阪府と奈良県。大阪府の先生方も手に汗握る応援の中、大阪府が1勝を獲得。続いて奈良県が獲得し大阪府と奈良県の一騎打ちとなった。スクリーンに映し出されるポイントをいまか今かと待ち構える大阪府の先生方。しかし僅差で奈良県が初優勝に輝いた。惜しくも第2位の結果には終わったが、決勝席での堂々たる大阪府代表の

3名の姿は称賛に値するものであった。大阪府20名の参加出場選手へ、心躍る素晴らしい夏をありがとうございました。(広報部)



大阪府の選手の成績(100位まで抜粋)

- ★個人総合競技
- 第10位 大内 峻聖
- 第45位 江口 尊琉
- 第48位 一 長門
- 第71位 植西 亮太
- ★都道府県対抗競技
- 第2位 大阪府



全日本珠算選手権大会
感想(協力委員・取材)

大垣真一朗

(協力委員)

8月8日の全日本選手権大会に委員として参加させていただきました。全日本は以前見学に行ったことがありますが、委員としては初めてになります。大阪府支部からかなりの人数の先生方がお手伝いされていましたので、緊張な面持ちの半面、リラックスした部分も少なくはなかったと思います。

大会は総合競技、フラスコ暗算、読上競技、都道府県対抗と行われましたが、私は総合競技の審査判定委員と都道府県対抗の副審を致しました。役を全う出来たかどうかはわかりませんが、緊張な面持ちで仕事させて頂きました。全国の先生方と一緒に大変貴重な仕事をさせて頂いたと思います。そろばん日本一には、

宮城県の土屋選手が圧巻のスピードと正確さで堂々輝きました。各種目とも人間がもつ限界の能力、日本のトップ選手達の凄さを感じることができ、大変有意義な1日でした。



丸田 拓明

(協力委員)

今回は初めて協力委員として間近で大会を見させていただきましたが、観覧席では感じることができない緊張感がありました。用意始めの合図で問題用紙

をめくる選手たちの颯爽とした動作、圧力には驚きました。そして全国トップ選手の立ち振る舞いを感じました。

久手堅大成

(広報部取材)

全ての生徒を競技選手に育てるわけではないが立ち振る舞いはしっかりと教育すべきではと考えさせられました。勝負の世界である以上勝ち負けは付きもの。勝った選手の喜び、また負けた選手の悔しさ、どれだけの練習をしてきたのか、この大会にかける想いが伝わりました。

そんな中で注目したのが読上算で中学生の入賞選手が増えていること。前年より1名ではあるが17名の入賞選手が5名の中学生が入賞。そして1名の小学生が入賞、読み手の最高速度を何度も聞いていたのが、位が聞き取れるのがやっとなのである。それを正答にできる技量。どのように練習をしているのか、読み手もそれだけ読まなくてはならないのか。気にな

り、考えさせられました。全てが良い経験になりました。

一流の読み手競技委員の圧倒的な技術、大会の進行を滞りなく行う担当委員の動き、そして壇上におられる方々の姿勢は、大会の格式を感じさせるものでした。

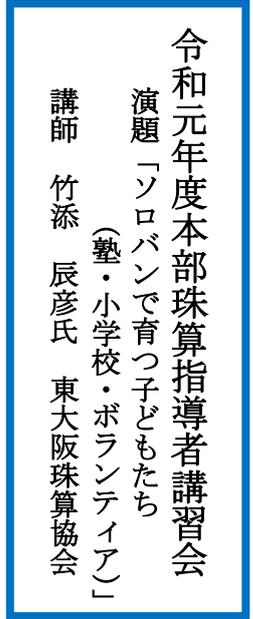
一切の妥協を許さず、選手以上の情熱を持って大会を運営しているからこそ、見るものを魅了するドラマが生まれ、選手を含め観客をも感動する大会になるのだと改めて思いました。

令和元年度本部珠算指導者講習会

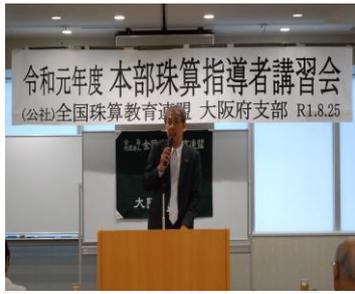
演題「ソロバンで育つ子どもたち」

(塾・小学校・ボランティア)

講師 竹添 辰彦氏 東大阪珠算協会



令和元年8月25日(日)アートホテル大阪ベイタワーに於いて13時から本部指導者講習会が開催された。講師を務めたのは、東大阪珠算協会の竹添辰彦先生で、「ソロバンで育つ子どもたち」と題して講演が行われた。



先生ご自身が、尼崎市の計算教育特区(そろばん特区)で長年、小学校の計算講師を務められている(年間50時間という限られた時間で、3・4年生を指導。

指導終了時には4級の取得を目標。)こともあり、珠算塾という枠組みを超え、小学校で授業という時間を教諭・生徒たちがどのように過ごしているのか、また新学習指導要領では5・6年生から英語が教科として評価の対象となる等、教育現場の現状を語られた。珠算の初歩指導「10の繰り上り・繰り下がり」「除算の確商」等では、受講者にも積極的に意見を求められ、講演は進められた。自身の御子息の話では、実社会にでも「珠算で培った能力」は暗算力にとどまらず色々な面において、大いに活かされているとも語られた。私たち珠算指導者は経営者であると同時に教育者であり、常に生徒から学ぶ気持ち、生徒との距離感・信頼感を大切にし、日々指導者も成長していく重要性を考える、とても有意義な講習会であった。

(広報部)



講習会を受講して

今回、珠算指導者講習会に参加させて頂き、そろばんを通して子どもたちをどのように育てるか、初歩指導から全般的な指導、また小学校ではどのように授業を行っているのか、私にとって大変勉強になる講習会でした。

先生方により沢山の考えやいろいろな指導法があると思えますが、子どもを見て臨機応変に指導するのではなく、基本を正しくきっちり

と覚えさせることを前提とし、当たり前のことをやらなくてはならない指導法に多く考えさせられました。よく基本が大事と聞きます。それが駄目ならどんなパフォーマンスをして

も結果は出ないと。その通りだと改めて考えさせられました。そんな中、級が進むにつれ間違えが多くなる引き算があります。さっそく実践しているのが間違えやすい引き算の2口の読上げ算。今までよく間違えていた子が2口なら間違えることなくできる。自信とな

だきました。そろばんがしっかりとできる環境を作ってあげること。そろばんができるから、検定試験に合格したから、競技大会で良い成績が取れたから、が良いのではなく、それまでの努力を評価し人として当たり前、そして将来恥ずかしくない立派な大人にしてあげることが改めて大切なことだと考えさせられました。

(丸田 拓明)

検定試験委員委嘱講習会 大阪府支部講習会 「興味ある珠算史 エピソード」

令和元年6月16日(日)大阪府支部2Fにて検定試験委員委嘱講習会が、櫻井支部長の講師により開催されました。試験委員としてのモラルや行動・姿勢・身だしなみには特に留意するなど、改めて試験委員に厳格性を求められた。

その後、15時から大阪府支部講習会が開催された。大垣憲造先生による「興味ある珠算史エピソード」という題目で、珠算史を日本と外国で大きく2つに区分され、紀元前1066年から現代まで約三千年間の長い年月を「そろばん」という切り口で講義が進んでくると、受講者はまるで学生に戻った気分で見聞き入っていた。そろばんの伝来地は長崎か堺か?等は当時の歴史的背景まで視野に入れた見解を話された。中国で三千年前、それより西の地域では四・五千年前にはそろばんのルーツが確立していたとするならば、世界各地には、様々な言語が存在する中、物を数える・計算するという行為そのものは、時代・場所を問わず行われていたことを考えると「数字」というものは世界の最初の共通言語ともいえるような気がした。(久手堅)

第31回日本小・中・高校生 そろばん訪米使節団



つと練習を頑張りたいという気持ちになりました。目標に向かって頑張ります！

新海 美澄希
中学2年

を持ち帰ることができても良い十日間となりました。アメリカの小学生は自分の個性や意見をしっかりとアピールして写真を撮るとときも全員笑顔でとても雰囲気良くすこいなど感じました。

強になりました。最後に、先生・家族に感謝してこの経験をこの先の人生に生かしていきたいです。訪米使節団に参加できて本当に良かったです！！

廣田 いち花
中学1年

かありました。私はアドバイスをもらって小学生に教えました。現地の小学生達はなんと分かってくれたようです。この時、班のメンバーの優しさを感じました。そしてアメリカでそろばんをしていく同世代の子たちとの交流会・競技会がありました。アメリカの子たちはレベルが高く、競いあえるのが楽しく、会話もしました。私は個人総合競技で5位を獲得しました。同い年の子に負けてしまったので悔しかったのですが、正答率も高く、自分の力を出し切ることができました。この交流で私はもっと自分のレベルを上げたいと思う力が強くなりました。このように色々な思い出を作れたのは、良い人達がメンバーになったからと団員になれた環境があるからです。皆さんの人にお世話になりました。第31回訪米使節団のみんな、

土井 心葉
中学1年

先生方、両親、親戚、本当にありがとう。私は第31回訪米使節団の団員に選ばれたことを誇りに思います。

このアメリカ訪米使節団で現地の小学校を訪問で小学校のやる気に驚きました。初めて見たそろばんに興味しんしんで私のカタコトの英語でも分かるようにしてくれました。小さい頃からしていたそろばんを英語で教えられるしかなかったです。

また、アメリカの食文化など文化にふれられてうれしかったです。そして、行くチャンスを与えてくれた家族・先生にも感謝しています。

増本 和香
中学3年

この度は、家族をはじめ、たくさんの方々の協力があり、訪米使節団の団員に選んでいただきとても嬉しく思います。そしてアメリカでたくさんさんの体験をしてたくさんさんの思い出

また、授業中でも間違ってもはずかしそうにしたり周りがからかうような姿がなくその姿にも感動しました。アメリカの子供達との交流を通じて「そろばん」をここまで続けてきたことのすばらしさを感じ自分に自信が持てるようになり、も

また、「集団意識」です。使節団では主に全行動で一人がおくれると、みんなにめいわくがかかります。すると、自然にちこくする人がいなくなりました。これはすごく大切なことで、社会にでた時に必要になってくることだと思ふのでとても勉

そんなこんなで小学生にそろばんを教える時が来ました。私はペラペラな英語を話すことができません。なので教えることに苦労したこともありましたが近くにいきました。助けてもらうことも何回

第31回訪米使節団のみんな、



生徒作品募集

★応募締切

令和元年10月31日

(当日消印有効)

★応募方法

珠算学習者のみなさんから、そろばんを習ってよかったこと・楽しかったこと・こどもたちの夢などを、作文やポスターにした作品を募集します。(研修部)
★テーマ 『そろばん』
*未発表のものに限る
★応募作品 ①作文の部 (四百字詰め原稿用紙3枚以内・一人一編)
②ポスターの部 画用紙(絵具画・クレパス画・その他 規定はありません)
★応募資格 全珠連大阪府支部会員 教場の生徒に限る。
★入賞 入賞者には、各部門別に記念品を贈呈します。
最優秀賞 一名
優秀賞 若干名
審査員特別賞 若干名
佳作 若干名

諸会議行事報告

〈常任委員会〉

日程

令和元年7月28日

場所 大阪府支部2階 出席者数 15名

1. 本部・支部・近畿ブロック・大阪連合会・近畿連合会 状況報告

2. 平成30年度事業報告・収支決算報告及び収支差額金処

3. 総会・講習会の件 分案承認の件

4. 支部研修旅行の件

5. 各執行部報告

6. その他

行事予定

10月13日

全日本通信珠算競技大会

10月13日(日) 14日 近畿ブロック研修会

10月27日 偶数月検定試験

11月3日 常任委員会

11月24日 第394回検定試験

本部報告

令和元年度本部新役員

理事長 工藤 壽和

副理事長 岡久 泰大

総務委員長 澤田 悦子

副理事長 前田 珠樹

研修学教委員長 山戸 克弘

検定競技委員長 鈴木 宗一

広報委員長 森 廣次

監事 神本 満男

令和元年度 全日本通信珠算競技 大阪府大会

開催日時 令和元年 10月13日(日)
大会会場 守口門真商工会館
交通アクセス 京阪門真市駅・大阪モノレール門真市駅から徒歩7分

令和元年 10月13日(日)

守口門真商工会館

京阪門真市駅・大阪モノレール門真市駅から徒歩7分

編集後記

「おおさか」341号の発行にあたり、ご協力・ご助言を下さった諸先輩先生方に深く感謝申し上げます。
初めての広報誌の発行で、不慣れなものばかりの広報部ですが、それれが記事や取材にと協力して、無事に編集を終えることができました。

「ああ、疲れた。」出上がった時に声にだした素直な感想です。歴代の広報部長の方々がいかにかパワーに満ち溢れていたか頭が下がる思いです。
願わくは会員の先生方皆さんに目を通していただき、気軽に意見・ご感想を言っていただけ、みなさんに愛される広報誌にしたいと思っております。
諸先輩先生方々、今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

(広報部)

10月検定試験のお知らせ

- 珠算4級～15級
○ 暗算1級～10級

★申込期日締切日

10月9日(水) 午前10時

★検定結果報告締切日

10月28日(月) 午前10時

★申込期日・検定結果報告は支部への提出日です。期日は厳守して下さい。

★受験者数の増加をおねがいます。